

伊藤 謙一 議員

市の子育て支援

**問** 厚生労働省は子育て支援を社会全体で取り組むべき課題としている。本市にとって、社会全体で行う子育て支援とは。

**答** 本市は「袋井市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、市全体で子ども・子育て支援を行っている。今後の取り組みとして、待機児童対策のための新たな保育施設の整備をはじめ、幼小中一貫教育の推進等、子どもにとって良質な教育・保育の提供を目指す。また、放課後児童クラブの充実や、来年度からスタートするコミュニティセンターにおける地域で子育てを支援する取り組みなど、地域における子ども居場所づくりに取り組む。さらに、これまでも力を入れてきた子育て世代包括支援センターでの子育ての総合相談や、早期療育に関する「育ちの森」でのサポートなど、子育ての悩みや不安を解消していきたい。



子育て世代包括支援センターの窓口

**問** 近年、子育て経費は増加し、第2子が大学へ入学する時点で、子育てコストは可処分所得の7割ともいわれる。本市で子どもを育てる場合、出生から義務教育終了まで、総コストを試算するといくらか。

**答** 0歳から公立保育所、4歳から6歳まで公立幼稚園、7歳から15歳まで公立小中学校の場合、約372万円かかる。第2子以降は条件を満たせば保育料を半額にし、保護者の負担軽減を図っている。

山田 貴子 議員

袋井駅北口市有地の有効活用

**問** 袋井商工会議所に市有地を無償貸与する考えに変わりはないか。

**答** 本市に対し活性化という意味で十分に貢献いただける事業であると見込んでいるが、「事業計画書(案)」の中身を検討する中で、市有地の貸与の方法を判断していきたい。

宇刈北部の課題として

**問** 試行期間満了となるデマンドタクシーの今後の運行は。

**答** 利用登録世帯からの意見を、本運行に向けての改善点と捉え、運賃の減額や予約時間の短縮、増便等の改善をし、今後開催の「袋井市地域公共交通会議」に諮った上で、10月から本運行を進めていく。他の運行形態についても再度検討した中で進めていきたい。

袋井駅南口の自転車駐輪場

**問** 駐輪場計画はどのようになっているのか。

**答** 袋井駅南都市拠点土地区画整理事業との土地調整を図り、平成30年度を目途に整備をしていきたい。設計は雨等の影響を受けにくい構造とし、長期にわたり活用できる建物を考えている。料金については、袋井駅北口の自転車駐輪場との均衡を考慮して設定したい。



デマンドタクシー